

1. 日 時 : 令和6年2月28日 (水) 17:50 ~ 18:45
2. 場 所 : 特別会議室(管理棟3階)／ハイブリッド開催(Microsoft Teams)
3. 出席者 : 古宮委員長、藤本委員、村上委員(web参加)、山上委員、清水委員、山脇委員、佐藤委員、常風委員、金子委員(web参加)、中原委員(web参加)、坂口委員、池澤委員
4. 陪席者 : 総務企画課 研究推進室 早尻、森田
5. 議 事 :
臨床研究等利益相反マネジメント委員会に諮った申請において、COIに問題が無いことが確認された。

迅速申請**(1) 肥大型心筋症患者を対象とした全国登録調査研究(J-HCMLレジストリー研究)**

(27-131)

研究者: 老年病・循環器内科学 教授 北岡 裕章

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(2) 地域悉皆登録に基づいた高知県脳卒中発症予測モデルの作成

(31-155)

研究者: 脳神経外科学 准教授 福田 仁

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(3) 気管支喘息の重症難治化への自然免疫応答の関与と副腎皮質ステロイド抵抗性の病態の鍵分子に関する臨床研究

(2020-137)

研究者: 呼吸器・アレルギー内科学 教授 横山 彰仁

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(4) JCOG1408:臨床病期 I A期非小細胞肺癌もしくは臨床的に原発性肺癌と診断された3cm以下の孤立性肺腫瘍(手術不能例・手術拒否例)に対する体幹部定位放射線治療のランダム化比較試験

(2021-98)

研究者: 放射線腫瘍学 教授 木村 智樹

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(5) 未治療日本人転移性腎細胞がん患者を対象としたカボザンチニブ・ニボルマブ併用療法の有効性と安全性に関する前向き観察研究

(2023-43)

研究者: 泌尿器科学 准教授 辛島 尚

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(6) 絞扼性腸閉塞におけるICG蛍光法による血流評価 -多施設共同前向き観察研究-

(2023-63)

研究者: 外科学(消化器外科学) 病院教授 並川 努

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(7) 絞扼性腸閉塞におけるICG蛍光法による血流評価 -多施設共同前向き観察研究-

(2023-63)

研究者: 外科学(消化器外科学) 病院教授 並川 努

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(8) 心房細動アブレーション後における左房壁石灰化についての評価および検討

(2023-69)

研究者: 老年病・循環器内科学 医員 西村 拓哉

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(9) 術後せん妄を早期に予測する生化学マーカーの検討

(2023-107)

研究者: 麻酔科学・集中治療医学 教授 河野 崇

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(10) IVB 期子宮頸癌に対する化学療法・骨盤部放射線治療の多施設共同調査研究

(2023-111)

研究者: 産科婦人科学 助教 松浦 拓也

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(11) 細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)

(2023-118)

研究者: 眼科学 准教授 福田 憲

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

審議事項

(1) 倫理委員会の審査等業務に係る事前審査について

事務局から、関係資料に基づき説明が行われ審議の結果、原案通り承認された。

その他

1 継続講習

医学部長が講ずべき措置である審査及び関連する業務に関する教育及び研修の一環として、倫理委員会委員及びその事務に従事する者に対して、次世代医療創造センター田井麻美特任講師から、研究者の責務と倫理委員会の役割に関する講習が行われた。